

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第84回本部会議 記録

日 時／令和3年11月5日（金）

14：30～14：47

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第84回本部会議を開催します。
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【原田新型コロナウイルス感染症対策監】

資料1をご覧ください。道内の感染状況についてですけれども、道の警戒ステージの指標についてでございますが、前の週との比較で見ますと、昨日11月4日時点で、更に先週の前を下回っている状況でございます。低い水準となっているという状況です。続いて、各圏域ごとの状況でございますけれども、飲食店の集団感染事例が複数確認されております旭川市を含みます道北圏において、新規感染者数が前の週を大きく上回っておりまして、ステージ2の目安も上回っているという状況でございます。一方、その他の圏域におきましては、新規感染者が発生していない圏域も複数あるなど、多くの圏域において、新規感染者数は前の週を下回っているという状況でございます。

続いて、総評です。感染状況ですが、全道の新規感染者数は、15日連続で先週比で減少が続いております。10万人あたり1.2人となっております。一方、旭川市内では、飲食店の集団感染が連続して発生し、増加しているという状況です。医療提供体制ですが、療養者数、入院患者数も先週比で減少が続いております。ワクチン接種ですけれども、道民の77%、400万人を超える方が1回目の接種を、70%を超える方が2回目の接種を終えており、若年層につきましても、10歳代の1回目接種率が64%となるなど、接種が進捗しているという状況です。

今後の対策です。屋内活動が増加し、社会経済活動が活発化する季節を迎えまして、屋内での換気など基本的な感染防止行動の実践を呼びかけてまいります。旭川市内においては、飲食店におけます集団感染の確認を受けて、市への保健師派遣や国立感染研への派遣依頼を行いながら、市と連携して、疫学調査の徹底や幅広い検査、未接種者へのワクチン接種の促進に取り組みますとともに、飲食店や市民への注意喚起を図ってまいります。次の感染拡大に備えて、保健・医療提供体制の整備に向け、先月末にその構築方針を策定したところでございますが、これを踏まえた確保計画を今月中に策定してまいります。ワクチン接種ですけれども、12月から予定されております3回目接種に向けまして、市町村への支援等に取り組みますとともに、接種後においても感染防止行動を継続するよう注意喚起を行ってまいります。

次に、スライド4以降で何点か補足してご説明いたします。スライド13でございます。集団感染の発生の状況でございます。10月ですけれども、結果として集団感染は10件となりまして、これまでに比べて大きく減少しているという状況になります。続いて、最近の発生の状況でございます。件数は少ないですが、継続的に発生しておりますが、特に旭川市におきまして、飲食店等におけます集団感染が複数確認されているという状況でございます。

人出の状況です。札幌駅周辺ですけれども、先月末の緊急事態宣言が解除されて以降、昼、夜ともに増加傾向が続いてる。また、すすきの駅周辺でございますが、特に夜の人出

が増加しているということが見て取れるかと思えます。

ワクチン接種の状況です。3つ目の○でございます。先ほどもちょっと触れましたが、3回目の追加接種につきまして、現時点で具体的な接種対象者、また、使用するワクチン等が国から示されておりませんが、来年1月までに使用するファイザー社製ワクチンの道内市町村への計114箱の配分が11月1日に確定しております。また、当面のスケジュールを載せておりますけれども、国から示されておりまして、12月からの追加接種が可能となるよう、市町村等との調整を進めるほか、引き続き国からの情報収集に努めてまいります。

その他のスライドでございますけれども、本日の説明に関しますデータを載せておりますので、のちほどご参照いただければと思います。

資料1の説明は以上です。引き続き、資料2をご覧ください。

資料1の道内の感染状況等について、専門家及び有識者のご意見を伺うとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせしているところでございます。

有識者、専門家等からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますけれども、その主なものについてご紹介いたしますと、① 3回目のワクチン接種について、12月からの実施に向けて準備が進められているが、その効能や必要性を、道民に広く周知し、理解を得るとともに、実施主体となる市町村において、混乱が生じないように、接種に必要な情報を速やかに、かつ適切に提供していただきたいといったご意見。③ 感染状況に注意して適切な対応を臨機応変に行っていただきたいといったご意見をいただいております。こうしたご意見については、今後の取組の参考としてまいりたいと考えております。

私からの説明は以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております山口感染症担当部長から説明をお願いします。

【山口札幌市感染症担当部長】

資料3に基づきまして、札幌市の感染状況についてご説明いたします。

それでは1枚目のスライドをご覧ください。新規感染者の1週間の合計につきましては、昨日の11月4日時点で19人となっております。そのうちリンクなしの人数は10人で、割合は52.6%となっております。本日の新規感染者数はゼロとなっております、これは昨年の7月11日以来となります。また、1日の新規感染者数は先週の月曜日、10月25日から12日連続で一桁台となっております、感染状況は落ち着いてございます。また、札幌市内のクラスターも本日時点で、昨年の4月10日以来、約1年半ぶりに全てのクラスターで収束という状態になってございます。

それでは次のスライドをご覧ください。札幌市内の入院患者数の状況などについてでございますけれども、昨日時点で入院患者数、黄色の棒グラフでございますが、7人となっております。また、重症患者数、赤の折れ線グラフでございますが、ゼロとなっております、医療への負荷は抑えられている状況でございます。

それでは最後のスライドをご覧ください。これは検査数についてのスライドでございます。直近1週間の検査件数は5,395件の実施となっております。また、陽性率は昨日時点で0.4%と5%未満の低い水準で推移をしております。

今年につきましては、インフルエンザの流行も懸念をされているところでございまして、また、寒さで換気がしづらくなることや、年末に向けて社会活動が活発になることから、感染再拡大を防ぐためには、基本的な感染対策を継続するとともに、感染リスクが高まる飲食の場において、特に徹底した感染対策が必要と考えてございます。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、各部・振興局から、順次、発言をお願いします。
まず、上川総合振興局長、お願いします。

【佐藤上川総合振興局長】

資料4に基づき、旭川市内の集団感染事例についてご報告いたします。

旭川市内においては、10月中旬以降、飲食店において感染が継続して確認されておりまして、昨日までに3件の集団感染が発生し、感染者は合計で21人となっております。この間、旭川市保健所に対しては、本庁コロナ指揮室の地域支援班から、先週、今週と二度にわたり、幹部職員に現地入りしていただくとともに、国立感染症研究所にも、11月8日から支援活動をいただく予定となっております。振興局といたしましても、引き続き、職員をリエゾンとして派遣するなど、情報共有を図りながら、連携して対応に当たっているところでございます。

対応状況についてでございますが、飲食店で感染が広がっている状況を踏まえ、11月2日に旭川市今津市長と同行して、旭川市内の繁華街であるさんろく街の飲食店を訪問し、感染防止対策の徹底やワクチンの接種、道の第三者認証制度の取得促進などについて呼びかけたところでございます。あわせて、以前ご報告いたしましたけれども、今津市長との共同メッセージ動画について、冬のシーズンを迎えるタイミングとなることから、この度、内容を更新したところでありまして、引き続き、SNSや市のホームページなどを活用して、啓発を進めていく考えでございます。

また、旭川市では今般の集団感染に対し、疫学調査の徹底に加え、来週、これも11月8日からでございますけれども、市内中心部に臨時の検体採取所を設置する予定でありまして、希望される飲食店の従業者などに対しPCR検査を行うとともに、ワクチン接種について周知し、その場で予約も受け付けると伺っております。

さらに道の第三者認証制度の活用促進に向けて、旭川市では、認証を受けた飲食店がさらにCO2センサーを導入した場合、20万円を支給する、そういった奨励金事業について、現在市議会に対して補正予算を提案し審議中ということでございます。第三者認証制度につきましても、飲食店における感染防止対策を進めるとともに、利用される方々に安心していただくためにも大変有効なものでありますので、振興局としても、旭川市の取組とも連携しながら、引き続き、取得促進を進めてまいりたいと考えております。

上川総合振興局としては、現下の旭川市内の感染状況をいち早く抑えるよう、旭川市と連携を密にして対応に努めてまいります。

上川からは以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、日高振興局長、お願いします。

【北村日高振興局長】

資料5をご覧ください。まず1の管内の感染状況等についてでございますが、8月には70人でありましたが、10月12日に1人の感染者が確認された以降は発生しておりません。また、ワクチンにつきましては、12歳以上は約8割、高齢者は約9割の方々が入浴の接種を終えている状況でございます。

次に2の感染拡大防止の取組についてでございますが、私と管内7町長とのホットラインを生かして、住民の方々に対しまして、4月以降延べ15回連名のメッセージを発出してございまして、資料の右側でございますように振興局若手職員の手作りのイラストなどを取り

入れるなど、多くの方々の目に留まるよう工夫して作成しております。緊急事態宣言の解除後、日高管内におきましても少しずつ観光の方が増えてきておりますが、日高オリジナルのポスターを作成掲示しまして、地域の観光協会などと連携し、来訪される方々に黙食、黙浴などの対策の呼びかけを行っております。

また、馬産地ならではの独自の取組について、ご報告いたしますが、新ひだか町にございます北海道市場に、サラブレッドのせりにおきましては、全国から多くの馬主、競馬関係者の方々がいらっしゃることから、保健所から感染拡大防止のための助言をさせていただきまして、事前登録制やオンラインのせりシステムの活用、更には資料の写真にございますとおり、会場内の座席を間引きするなど対策を講じた上で開催していただいております。計5回、延べ11日間のせりを無事終了しまして、過去最高の売り上げを記録したところでございます。また、北海道競馬が開催されます日高町の門別競馬場でも、事前登録による500名の入場制限、また、検温、消毒、座席の間引きなどの対策を徹底した上で開催されまして、昨日全日程を終了し、こちらも過去最高の売り上げを記録したところでございます。さらにはこうして全国の競馬関係者の方々と会う機会が多い管内の牧場関係者の方々に向けまして、地元紙に感染防止に向けたメッセージを連日掲載していただくなど、積極的な周知に努めたところでございます。日高振興局といたしましては、引き続き、馬産地日高の地域特性に応じた感染拡大防止の呼びかけを行ってまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

この他、各部、振興局などからご発言ございませんか。なければ、本部長からお話しをお願いします

【本部長（知事）】

昨日の全道の新規感染者数は4人、人口10人当たりでは1.2人、療養者数、入院患者数も減少が続いています。今年に入って最も低い水準で推移をしています。これは緊急事態宣言解除後においても、皆様が感染防止行動を実践をいただいている結果でもありません。皆様のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

一方、引き続き飲食の場面などで感染が確認をされている、このことに注意をしなければなりません。先ほど報告がありましたが、旭川市内では、飲食店における集団感染が連続をして発生をし、新規感染者数が増加をしている、そういった状況にあります。道として、保健師の派遣、国立感染症研究所へ専門家の派遣依頼、こういったものを行いながら、疫学調査や感染症対策の支援に取り組んでいます。国立感染症研究所からは、専門家が2名、これは8日(月)から現地に入りまして、支援を開始する予定であります。これ以上、感染が広がらないように旭川市と連携を図りながら、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

また、これからの時期、窓を閉めることの多い冬を迎えて、会食の機会が増えることが見込まれる中、国の専門家からは、リスクの高い状況が重なると集団感染につながる恐れがあるという指摘があります。各本部員、地方本部員においては、あらためて、様々な機会を活用して、三密の回避、マスクの着用、手指消毒、換気といった感染防止行動の実践、これを呼びかけていただきたいと思います。また、感染が大きく広がる前の早期の探知・対応、これが重要であります。市町村や関係団体などと連携をしながら、地域の状況に応じて、機動的に取組を進めるていただくように指示をいたします。

また、今後の感染拡大に備えて、必要な病床数の考え方、こちらを取りまとめました。今後、医療機関等との協議を踏まえて、具体的な数、これを確定をしていくこととなります。道では、10月に札幌市内において、臨時医療施設に転用可能な宿泊療養施設、これを

整備をしたところでありますが、先日、医療提供のために必要な設備整備、こちらも完了いたしました。感染が拡大した際に130床の臨時医療施設が稼働できる体制が整いました。今後の病床の確保にあたっては、こうした臨時医療施設も効果的に活用しながら、スピード感をもって調整に当たってください。

最後に、ワクチンの接種についてです。道民の皆様7割を超える方が2回目のワクチンの接種、これを終えたところでありますが、未接種の方を中心とした集団感染、これも確認をされています。引き続き、希望する方への接種の促進、これを図るとともに、12月から予定をされております3回目のワクチン接種、こちらに向けて、万全の体制で取り組んでいただきたい思います。

私からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。
以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第84回本部会議を終了いたします。

（了）